



島根県 松江市消防本部  
消防長 柳原 知朗

## 国際文化観光都市 松江市

松江市は、島根県の県庁所在地として県東部に位置しています。

中心部は沖積地に発達した城下町で東西に中海と宍道湖をひかえ、市街地は大橋川で南と北に2分されています。大山隠岐国立公園の一部に指定されている島根半島は北山山地を越えて日本海に面し複雑なりアス式海岸をもっており、南部は丘陵の多い農村地帯が大部分を占めています。美しい自然をもつ反面、季節風など災害に対する自然環境は必ずしもよいとは言えず、過去には大火・水害など幾多の災害をもたらしています。

また、昭和26年に国際文化観光都市に指定されており、古社・古墳・城下町の遺構としての文化財も多く残っています。



宍道湖の夕日

現在、2007年度から重要文化財である松江城築城完成400年に当たる2011年度までの5年間にわたって「松江開府400年祭」を展開中であり、この期間に様々なイベント等を実施しています。

## 消防体制

本市消防本部は、1本部2署1分署7出張所、234名の消防職員と2消防団9方面団2,102名の消防団員の体制で1市1町(事務委託)管轄人口20万8,806人(世帯数8万2,195世帯)管轄面積572.91km<sup>2</sup>の消防業務を担い、「安心して安全に生活できるまち」の確保と更なる充実のため日々取り組んでいます。

## 一日消防長『あっぱれくん』 ～火災のない城下町松江を目指して～

平成20年秋季火災予防運動は、「松江開府400年祭」のメインキャラクター『あっぱれくん』を一日消防長に任命し、火災予防宣伝を実施しました。まず、恒例の火災予防図画コンクールに「あっぱれ賞」を新設し、受賞児童にあっぱれ君から賞状、記念品を授与しました。その後、大型ショッピングモールで消防音楽隊の演奏とあわせてチラシ等を買物客に配布して、火災予防と住宅用火災警報器の設置を呼びかけました。また、「一日消防長特別査

察」として重要文化財「松江城」の消防用設備を点検するとともに、観光客にも火災予防と観光都市松江をPRし、一緒に写真を撮ったりして大人気でした。これからも《火災のない城下町松江》をスローガンに火災予防活動に取り組んでまいります。



松江開府400年祭メインキャラクター「あっぱれくん」の一日消防長

## 島根原子力発電所における災害に備え、関係機関と連携強化

松江市は、市町村合併により全国の県庁所在地で唯一、原子力発電所立地市となりました。

N(原子力)災害に対応するため、当消防本部に2隊ある救助隊のうち、原子力発電所に近い北消防署特別救助隊に対応資機材を配備し、BC(生物・化学)災害対応部隊である南消防署高度救助隊とともに、消防隊、救急隊と連携を図りながら災害に備えています。

また、発電所放射線管理担当者を招へいし、原子力に関する知識を深めるため、消防隊員向けの講習を実施し、顔の見える関係を構築するよう努めています。

さらに、N災害現場においては、原子力発電所との正確な情報の共有、発電所放射線管理担当者との密接な連携活動が重要であることから、平成20年12月16日、島根県消防学校において、『発電所の廃棄物処理場で火災が発生した』という想定により、原子力発電所管理課・松江市消防本部合同の訓練を実施し、連携強化を図りました。



島根原子力発電所放射線管理担当者による講習会

## 結びに

複雑多様化する災害に対応していくために、より専門性の高い研鑽<sup>けんさん</sup>を積みながら、「安心・安全で住みよい松江市」の更なる発展を目指し、住民との協働の精神を基本として必要なことを着実に実行してまいります。